

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	ドリームズ・21st 鈴鹿桜島校		
○保護者評価実施期間	2025年12月10日		～ 2025年12月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	65世帯	(回答者数) 52世帯
○従業者評価実施期間	2025年12月10日		～ 2025年12月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	漢字・パソコン検定が受けられる	・一人ひとりに合わせて学習内容を提供し本番に向けての練習が行えるように環境整備に努めている。	・漢検では検定日本番と同じ時間で取り組めるように、パーソナルスペースを使用し、検定に対しての意欲向上を図っていく。 ・パソコンはモチベーションUPのための、事前声掛けにて説明を行うことや、取り組み時間の延長といった工夫を行う
2	子どもの気持ちに寄り添った支援を行っている	・子どもの気持ちや思いを尊重し、行動の背景にある感情を理解した上で支援を行い、スタッフ間での情報共有を密に行い、特性やその日の体調活動内容等を考慮し、職員配置を事前に計画することで、無理のない支援体制を整えている。 ・スケジュールリングを行うことで子どもが安心して活動できる環境作りを努めている。	・研修やミーティングを通じて支援技術の向上に努め、より個々のニーズに応じた支援が提供できるように取り組む。
3	保護者様や学校等、関係機関との連携がとれている	・連絡帳や送迎時による対話による日常的な情報共有 ・保護者様との定期的な面談や必要時の電話連絡 ・学校・関係機関との情報交換	・情報共有方法・内容の定期的な振り返り ・保護者様・学校からの情報の職員間の共有 ・個別支援計画への反映 ・相談しやすい関係づくりの継続 ・連携体制の見直しと改善

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	発信力が弱い	・HPの更新がされていない理由は担当制にしたことと写真に対しての制限を設けることで難しさを感じるスタッフが出た ・日頃から写真を撮るといった意識が薄く、HPに対する意識の低下が見られていた。	・実施力をつける為にも、再度、HPの内容について一週間に一度、朝礼等で話し合い実施を目指す。 ・スタッフ間での意識づけの為にも、ブログ等の確認を行っていく。
2	保護者様・兄弟を含めたイベントの告知不足	・イベントのお知らせはしていたが、個別での参加呼びかけのみであった。 ・保護者様への呼びかけは行えていなかった。 ・イベントの立案時に保護者様・兄弟のイベント参加を想定してなかった。	・保護者様・兄弟の参加も可能な立案の熟考。 ・イベントお知らせ時に保護者様・兄弟の参加が可能な告知を行っていく。
3	地域の子どもたちとの関りが少ない	・定期的な外出が行われていない為 地域の子どもたちと関わる機会が少ない。	・水曜日等の下校時間が早い時は、児童センターや公園等へ出向き、他の子どもたちと関わる機会を増やしていく。